



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,487	△3.1	125	116.3	167	30.9	154	122.9
2020年3月期第3四半期	4,632	△2.9	58	—	127	437.4	69	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 241百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	112.20	—	—	—
2020年3月期第3四半期	50.34	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	10,489	9,170	81.1
2020年3月期	10,560	9,037	79.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,510百万円 2020年3月期 8,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	62.50	62.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,733	△5.2	131	206.0	193	59.0	171	—	124.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	1,468,093株	2020年3月期	1,468,093株
2021年3月期3Q	91,425株	2020年3月期	91,385株
2021年3月期3Q	1,376,705株	2020年3月期3Q	1,376,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、減少傾向にあった新型コロナウイルス感染者が昨秋以降再び増加傾向に転じ、12月には政府が推進してきた「GoToトラベル・キャンペーン」等も中断、大都市圏を中心に飲食店などの営業時間短縮や、不要不急の外出自粛が再要請されるなど、再び医療崩壊の懸念と共に先行きの不透明感が急速に高まることとなりました。

当社グループが深く関わるアパレル・ファッション業界におきましても、日本向け衣料品の生産は抑制傾向が続き、当社グループの主力となる工業用縫い糸の受注は国内外共に低迷が続く一方で、所謂巣ごもり需要とも言える家庭でのソーイング需要は引き続き高止まり傾向が続き、国内の家庭用縫い糸の受注は堅調に推移しました。

また、引き続き為替換算レート変動による海外子会社の減収要因も加わって、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,487百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

一方利益面につきましては、アジアセグメントの減収に伴う減益要因は拡大したものの、一昨年の販売価格改正による利益率の改善や当社における家庭用縫い糸の増収、賃借料の減少や対外営業活動停滞による経費の減少など、日本セグメントにおける増益要因が第3四半期も継続したため、営業利益は125百万円（前年同期比116.3%増）、経常利益は167百万円（前年同期比30.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円（前年同期比122.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当第3四半期連結会計期間におきましても、所謂巣ごもり需要とも言える家庭でのソーイング需要は、全般には引き続き高止まり傾向で、国内の家庭用縫い糸の受注は堅調に推移しました。

しかしながら、アパレル・ファッション業界におきましては、衣料品消費の回復は思わしくなく、その生産は、防護服などを除いて抑制傾向が続き、主力である工業用縫い糸の受注は厳しい状況が続きました。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間には、当社は2020年4月から12月まで、国内子会社は2020年2月から10月までの業績が連結されているため、2か月のずれがあることや、それぞれの事業分野や販売地域も異なるため、状況は各社ごとに若干の相違が見られるものの、上述の状況から当セグメントの売上高は3,714百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

また、利益面につきましては、昨夏の当社新社屋の営業開始に伴う一過性の費用負担や償却費が発生したものの、上述のとおり、一昨年の販売価格改正による利益率の改善や当社における家庭用縫い糸の増収、賃借料や対外営業活動停滞による経費の減少等、増益要因が当第3四半期連結会計期間も継続したため、セグメント利益は91百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、2020年1月から9月までの業績が連結されております。

アジアセグメントの主となる中国におきましては、新型コロナウイルス感染者数も抑制され、経済全般には回復傾向が見られましたが、タイ国におきましては消費の低迷が続き、アパレル・ファッション業界を始め、繊維産業全般に厳しい事業環境が続きました。

また、日本向け衣料品の生産につきましては、日本での消費低調を受けて抑制傾向が改善されず、日本向け衣料品用の縫い糸の販売や生産が大きなウェイトを占める当セグメントの各子会社は、全般に厳しい商況で推移しました。

これらに加えて為替換算レート変動による減収要因もあり、当セグメントの売上高は772百万円（前年同期比20.3%減）となり、セグメント利益も30百万円（前年同期比61.2%減）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し、10,489百万円となりました。主な増減は、電子記録債権の増加118百万円、投資有価証券の増加125百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少79百万円、たな卸資産の減少205百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて203百万円減少し、1,319百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少145百万円、賞与引当金の減少31百万円、役員退職慰労引当金の減少28百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加し、9,170百万円となりました。主な増減は、為替換算調整勘定の減少22百万円があったものの、利益剰余金の増加66百万円、その他有価証券評価差額金の増加89百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月13日に「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,385,605	2,406,782
受取手形及び売掛金	1,177,668	1,097,697
電子記録債権	195,831	314,658
たな卸資産	2,872,562	2,667,084
その他	78,049	55,042
貸倒引当金	△12,037	△8,614
流動資産合計	6,697,680	6,532,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,432,886	1,978,856
その他(純額)	1,226,136	722,554
有形固定資産合計	2,659,022	2,701,411
無形固定資産		
その他	207,163	192,119
無形固定資産合計	207,163	192,119
投資その他の資産		
投資有価証券	667,885	793,527
その他	340,194	278,171
貸倒引当金	△11,515	△8,515
投資その他の資産合計	996,563	1,063,182
固定資産合計	3,862,749	3,956,714
資産合計	10,560,430	10,489,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	417,400	271,481
未払法人税等	24,397	48,084
賞与引当金	57,214	25,332
資産除去債務	5,169	385
その他	194,942	207,923
流動負債合計	699,124	553,208
固定負債		
役員退職慰労引当金	221,662	193,259
退職給付に係る負債	137,742	124,605
資産除去債務	34,322	32,788
その他	429,606	415,222
固定負債合計	823,333	765,875
負債合計	1,522,458	1,319,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	771,087
利益剰余金	6,526,873	6,592,887
自己株式	△109,249	△109,313
株主資本合計	8,098,963	8,177,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,073	205,293
為替換算調整勘定	238,483	215,615
退職給付に係る調整累計額	△112,893	△88,419
その他の包括利益累計額合計	241,663	332,489
非支配株主持分	697,345	659,805
純資産合計	9,037,972	9,170,281
負債純資産合計	10,560,430	10,489,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,632,947	4,487,728
売上原価	3,313,136	3,124,433
売上総利益	1,319,810	1,363,295
販売費及び一般管理費	1,261,605	1,237,423
営業利益	58,205	125,872
営業外収益		
受取利息	9,631	4,809
受取配当金	27,604	27,544
賃貸料収入	17,437	16,591
その他	34,910	21,538
営業外収益合計	89,583	70,483
営業外費用		
支払利息	423	170
賃貸料収入原価	7,178	7,512
為替差損	—	11,801
その他	12,220	9,359
営業外費用合計	19,822	28,844
経常利益	127,966	167,510
特別利益		
固定資産売却益	852	1,522
特別利益合計	852	1,522
特別損失		
固定資産売却損	647	622
固定資産除却損	3,537	432
事業所改築関連費用	854	—
特別損失合計	5,039	1,054
税金等調整前四半期純利益	123,779	167,979
法人税、住民税及び事業税	32,857	60,452
法人税等調整額	1,892	△49,221
法人税等合計	34,750	11,231
四半期純利益	89,029	156,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,723	2,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,305	154,466

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	89,029	156,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,218	89,220
為替換算調整勘定	△146,045	△29,033
退職給付に係る調整額	18,304	24,473
その他の包括利益合計	△110,522	84,660
四半期包括利益	△21,493	241,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,964	245,292
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,528	△3,883

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,663,536	969,410	4,632,947	—	4,632,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210,171	504,837	715,009	△715,009	—
計	3,873,707	1,474,248	5,347,956	△715,009	4,632,947
セグメント利益又は損失(△)	△11,634	78,102	66,467	△8,262	58,205

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,262千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,714,784	772,944	4,487,728	—	4,487,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	145,819	436,726	582,546	△582,546	—
計	3,860,603	1,209,671	5,070,275	△582,546	4,487,728
セグメント利益	91,669	30,280	121,949	3,922	125,872

(注) 1. セグメント利益の調整額3,922千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。